

1. 開会の挨拶 [学校長]

2. 協議会委員の自己紹介

藤井正俊氏 福喜多弘氏 上田文章氏 福原達也氏

3. 議事

(1) 平成28年度学校教育計画に基づく取り組み状況報告および自己評価について [木村校長より]

別紙資料に基づき説明

- センター試験受験者がふえた。ただ最後までモチベーションが持たない生徒もいる。途中私学に受かったらもういいかというきもちになる。親の意識に対するアピールも必要かも。
- センターを受験することは全般的に勉強することになりバランスのいいものの考え方をするようになる。社会に出たときに大切なことである。
- 数字にとらわれずに個々の生徒にあった対応をすることが大切。結果として数字は後からついてくる。
- 授業アンケート数値上昇者はなぜあがったのかを自己分析してほしい。他の人へのアドバイスになる。
- すでに達成率の高いものに関してはそれを維持していることで評価は◎でいいと思う。
- 一年生の自宅学習時間が短いのはどうしていいのかわからないというものもあるのではないか。具体的に簡単なことからどれくらいどうやればいいのかを入学の早い段階で教えてあげると良いのではないかと。

(2) 平成29年度学校教育計画について [木村校長より]

別紙資料に基づき説明

- 「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力を身に付ける」というのは大切でありおもしろいが難しい。1時間無駄でも8時間などのスパンで見ると。急に成果の出るものではないから時間をかけることが大切。
- HPはアクセス数でみたほうがよい。どこを見たのかというカウントもできるらしい。

(3) 平成29年度入学者選抜状況および平成30年度入学者選抜について

[中須賀教頭より]

(4) 本年度の進路状況[中垣進路指導部長より]

別紙資料に基づき説明

- 個々の生徒がどうなったのかが大切。数を見ずに中身を見る。

(5) 平成29年度行事予定・授業アンケートについて[鳥山首席より]

(6) 平成30年度科目選択及び教科書選定について[泉首席より]

4. 閉会の挨拶[木村校長]